

# 1 県政のあらまし

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベント等の事業を中止、または延期する可能性があります。

## 県 の 重 点 施 策

### 新型コロナウイルス感染症の克服

#### 感染拡大防止や医療面での対策

- 重点医療機関・協力医療機関に対し、病床確保経費を支援するほか、中等症患者を集中的に受け入れる「県立愛知病院」を運営
- 診療・検査医療機関や入院医療機関、重点医療機関に対し、施設・設備整備経費を支援するほか、軽症者等が療養を行う宿泊施設を運営
- 医療従事者等へのワクチン優先接種体制を整備し、副反応に関する専門相談窓口を設置するなど、県民への接種体制を確保
- PCR検査数の増加のため、大学にPCR検査を委託
- 医療機関でのPCR検査など、行政検査に係る本人負担分を公費で負担
- 本県独自の「愛知県医療従事者応援金」を交付し、医療従事者の処遇改善を促進
- 本県独自の「愛知県回復患者転院受入医療機関応援金」を交付
- 経営が悪化している第2次救急医療を担う医療機関に対し、本県独自の無利子・無担保の融資制度により、経営を支援
- 児童福祉施設のほか、感染者が発生した介護施設や障害福祉サービス施設等における衛生用品の購入等を支援
- 特別支援学校のスクールバスの増車を継続し、乗車定員を少人数化
- 観光事業者向けに、感染症対策のセミナーを開催するほか、旅行者向けには、「新しい旅のエチケット」の普及啓発動画を配信

#### 県民生活への対策

- SNS等を活用した相談を実施し、不安を抱いている方や、様々な悩みを抱える生徒の心のケアを実施

- GIGAスクール構想を推進し、県立学校の通信環境を整えるほか、民間学習支援サービスを継続利用
- 小中学校において感染症対策等の補助的な業務を行うスクール・サポート・スタッフや学習指導員を配置

#### 経済対策

- 中小企業への制度融資について、「経営改善等支援資金」の創設や、融資対象者の拡大、金利の引下げ等を実施
- 中小企業等が取り組む新サービス・新製品の開発や販路拡大を支援
- 商店街が実施する新しい生活様式に対応した事業や、市町村が実施するプレミアム商品券発行事業等に対して支援
- 県内の事業者、労働者を対象に、専門の相談員による個別相談会を継続的に開催
- 中小企業の採用活動のオンライン化を支援するセミナーを開催
- 県内旅行商品の割引等、県内旅行の需要拡大を図る取組を継続
- 愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」において、感染防止対策を実施して開催される音楽コンサートに対し、会場利用料を補助

### With/Afterコロナを見据えた成長戦略

#### 新時代を担う人材の発掘・育成

##### (ステーションA i プロジェクトの推進)

- 「ステーションA i」のPFI事業者の選定、PFIによる施設整備を着実に実施
- 「プレ・ステーションA i」を開設・運営
- 海外の主要な大学やスタートアップ支援機関との連携事業をより一層加速
- スタートアップの成長支援と、海外スタートアップと県内企業との協業を促進するプログラムを実施

■「あいち・なごやスタートアップ海外連携促進コンソーシアム」において、スタートアップの海外展開を支援

■「あいちパートナーベンチャーキャピタル制度」を創設し、スタートアップの資金調達を円滑化

■「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」が国のスタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市に認定されたことを活かし、国際的なイノベーション創出拠点を形成

#### **(ジブリパークの整備推進)**

■「青春の丘エリア」、「ジブリの大倉庫エリア」、「どんどこ森エリア」の3エリアの整備工事を進め、展示・演習工事に着手するほか、「もののけの里エリア」、「魔女の谷エリア」の2エリアの整備工事にも着手

■愛・地球博記念公園の北エントランスや休憩所、園路等の整備を進め、新たな駐車場も整備

■公園周辺道路の交通渋滞緩和に向けた工事等を実施

■国内外から訪れる多くの来場者を、県内での宿泊や周遊観光へ誘導するための仕組みを構築

### **人を呼び込むための社会インフラの整備と仕掛けづくり**

#### **(リニア中央新幹線の推進)**

■名古屋駅のスーパーターミナル化を推進

■名古屋駅からの40分交通圏拡大に向けた検討や、中部国際空港や東海道新幹線駅へのアクセス向上等に向けた取組を実施

#### **(二本目滑走路の整備を始めとする中部国際空港の機能強化)**

■国際線の復便を始め航空ネットワークの回復・拡充を図るとともに、二本目滑走路の早期実現に向けた取組を実施

#### **(国際展示場の最大限の活用)**

■愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を最大限活用し、官民連携による新たな展示会需要を創造

■「SDGs AICHI EXPO 2021」を開催するとともに、

「SDGs関連国際会議」を支援

■イノベーション創出の拠点とする「スーパーシティ」に向けた基本構想の策定やビジネスモデルの検討を実施

#### **(アジア競技大会の推進)**

■競技・輸送など個別の運営計画の検討、メイン選手村となる名古屋競馬場跡地での将来のまちづくりを見据えた後利用の検討、開催機運醸成に向けた広報・PR等を実施

■「第5回アジアパラ競技大会」の開催に向けた調査を実施

#### **(新体育館の整備)**

■世界でもトップクラスのアリーナを目指し、「BTコンセッション方式」により着実に整備を推進

#### **(官民におけるDXの推進)**

■「DX推進室」を設置し、「あいちDX推進プラン2025」に基づいて強力的に推進

■県行政において、AI・RPA等の先進的なICT技術を取り入れた業務変革を行うとともに、テレワーク環境の整備・拡充、行政手続のデジタル化、デジタル人材の育成研修等を実施

■経営者を対象とするセミナーや、企業内でデジタル化を推進する人材を育成する研修会を開催するほか、相談窓口の設置やコンサルティングを実施

#### **「リニア大交流圏」の形成**

■道路ネットワーク整備を推進するほか、名古屋環状2号線の全線開通に合わせた新たな料金制度の導入や、名古屋高速道路の都心アクセス向上などの取組を推進

■「愛知県港湾物流ビジョン」に基づき、港湾物流機能を強化

■デジタル技術や新しい技術を積極的に活用する「MaaS」の導入に向けて、名古屋東部丘陵地域において実証実験を実施

■JR刈谷駅のホーム拡幅やコンコース拡張、ホームドア設置等を支援

## 産業首都あいち

- 事業継続・雇用維持の支援など、感染症による危機に対応した緊急対策に取り組むとともに、モノづくりとデジタル技術を融合した革新的技術の社会実装に向けた取組や、中小・小規模企業におけるデジタル技術の導入支援など、愛知発のイノベーション創出に向けた施策を推進
- 水素ステーションの整備や燃料電池フォークリフトの導入を支援し、燃料電池自動車の更なる普及を促進
- 自動運転の社会実装の実現について、中部国際空港島や愛・地球博記念公園などの集客施設のほか、新たに名古屋市内の都心において実証実験を実施
- 次世代自動車産業の生産拠点である西尾次世代産業地区などにおいて企業団地の造成を進め、新たに知多大興寺（2期）地区の造成に着手
- 「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」において、航空機産業の経営基盤強化のため、他産業分野への参入を支援するほか、企業の経営改善や生産性向上のためのコンサルティングや、販路拡大、人材育成等を支援
- 「ロボカップアジアパシフィック2021あいち」の開催準備を推進し、高校生向けの新たなロボット競技会の実施に向けたトライアル大会を開催
- サービスロボットの導入に関する実証実験を行うほか、ロボット大会等の場で幅広く情報を発信
- 航空宇宙、次世代自動車などの分野において、県外企業の新規立地や県内企業の再投資、高付加価値のモノづくりを支える研究開発や実証実験などを支援
- 「第38回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」を開催

## 農林水産業の振興

- 本県独自の「あいち型産地パワーアップ事業費補助金」により、農業施設の整備を支援

- ドローンやICT等の次世代技術について現地実証を行うほか、研究機関との連携のための環境を整備し、スマート農業技術の現場への導入を加速化
- 国内で開催されるアジア最大級の食品展示会へ出展するほか、海外の展示会へ出展する事業者を支援し、農林水産物の輸出を促進
- 「あいち花マルシェ2021」を開催
- 農福連携相談窓口を設置するほか、新たに愛知県版農業ジョブコーチ研修を実施
- 鳥インフルエンザの感染を防止する防鳥ネット等の設置を支援
- 豚熱対策について、飼養豚へのワクチン接種のほか、野生イノシシの捕獲や経口ワクチンの散布を実施
- 畜産総合センターの豚舎の開場に向けて整備を進めるほか、小牧市内への種鶏場の移転整備を進め、名古屋コーチンの生産体制や防疫体制を強化
- スマート林業を推進するほか、エリートツリーや成長の早い樹木の普及への取組を実施
- 森林、里山林及び都市の緑の整備・保全に取り組むほか、林業従事者の養成、県産木材の利用促進、森林情報の整備に取り組み、市町村が行う森林整備等を支援
- 日本一のあさり漁業を支える干潟・浅場の造成や貝類増殖場の整備を推進するほか、新たに、漁業者が利用する製氷施設整備や漁船の更新等への支援を実施

## 次代を創る教育・人づくり

### 教育立県あいち、人財創造あいち

- 小学校第1学年・第2学年、中学校第1学年で実施している35人学級を、小学校第3学年に拡充
- 県立工業高校の「工科高校」への校名変更や学科改編を行うほか、瑞陵高校及び岡崎北高校への「理数科」の設置、守山高校及び幸田高校への「企業連携コース」の設置、城北つばさ高校の総合学科への改編に向けた準備を実施

- 2023年度入学者選抜に向けて、公立高等学校の入学者選抜制度を改善
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う児童生徒の不安等に適切に対応
- 小中学校における様々な問題に対し、法的知見から助言するスクールロイヤーを配置
- 県立学校について、改修工事を計画的に実施するほか、普通教室棟、管理棟及び一部の特別教室棟にある湿式トイレの洋式化や床の乾式化を実施
- 県立高校の空調設備を公費により設置運用
- 総合教育センターについて、組織・機能のスリム化を図った上で移転するための調査を実施
- 私立学校について、経常経費への助成を着実に実施し、高等学校及び専修学校高等課程の授業料及び入学納付金について、引き続き年収720万円未満の世帯まで実質無償化
- 幼稚園について、預かり保育の補助対象教員の資格要件を緩和するほか、主任相当の職にある教員の処遇改善を図る補助制度を創設
- 施設設備整備費補助金の補助対象に、専修学校の高等課程及び専門課程を追加

### グローバル人材の育成・獲得

- 外国語指導助手の活用による高校生の英語力強化や国際交流・異文化体験の促進、専門高校生の海外インターンシップ等を通じ、グローバル人材を育成
- 国内外の大学との学生交流や、スタートアップ支援を始めとした幅広い分野における連携を強化し、本県の人材育成や海外高度人材の誘致等を推進
- 「アジア大学サミット2021」の機会を捉え、海外大学との連携を推進
- 外国人留学生の県内企業でのインターンシップや企業との交流会等を行うとともに、帰国留学生の県内企業現地法人でのインターンシップを実施し、県内企業への就職を促進

## 安心と支え合いの福祉・社会づくり

### 子ども・子育て支援

- 生活困窮世帯やひとり親家庭の子どもの学習支援や子ども食堂の開設支援等の取組を実施
- 児童養護施設入所児童等の自立支援や子ども食堂の支援、子どもの学習支援を実施
- 認定こども園・幼稚園・保育所、市町村が認可する地域型保育事業への給付を行うとともに、幼児教育・保育の無償化にも対応
- 放課後児童クラブの設置促進など、子育て支援事業を着実に推進
- 潜在保育士の就職支援や、保育補助者等を雇用する経費に対する助成を実施
- 児童福祉司や児童心理司の増員、弁護士との連携による相談体制の確保など、児童相談センターの機能を強化

### 高齢者・地域福祉対策

- 新たに「愛知県認知症本人大使」の委嘱や啓発イベント、若年性認知症の方の社会参加支援モデル事業、認知症カフェにおける交流の推進等を実施
- 国立長寿医療研究センターとあいち健康プラザの「連携ラボ」における共同研究開発を進めるほか、研究を推進するための新棟整備を支援
- 介護従事者の確保、介護施設等の整備を推進
- 高齢者に医療・介護・予防・生活支援・住まいを一体的に提供する地域包括ケアを推進
- 高齢者が参加しやすいよう配慮した通いの場を設置するモデル事業や、地域における入退院支援ルールの策定に向けたモデル事業等を実施
- 高齢者の就労から生きがいづくりの一体的な支援や、多世代交流を通じた高齢者の活躍、移動手段の確保等のモデル事業や情報発信を実施
- 高齢者、障害者、子ども等の各分野を超えて市町村が相談支援等の取組を一体的に行う重層的支援体制の整備を支援

## 障害者福祉・支援、ノーマライゼーション推進

- 本県初の知的障害と肢体不自由の児童生徒に対応する「にしお特別支援学校」の校舎建設工事を実施
- 県立東浦高校の敷地内に設置する聾学校の分校の校舎の実施設計、県立農業大学の校地へ移転する岡崎特別支援学校の実施設計等を実施
- 特別支援学校について、医療的ケアを行う看護師の配置を拡充するほか、就労アドバイザーを追加配置
- 知多地域で初となる重症心身障害児者入所施設の整備を支援
- 「あいち障害者雇用総合サポートデスク」において、新たに障害者のテレワークに関する情報発信を行うほか、全ての中小企業を対象とした本県独自の「中小企業応援障害者雇用奨励金」を支給
- スポーツ団体、医療、教育、経済界など様々な分野との連携を強化するほか、情報交流の場としてポータルサイトを構築するとともに、「あいちトップアスリートアカデミー」にパラアスリート部門を新設

## 安心できる医療体制の構築

- がん患者等の妊よう性（妊娠するための力）温存治療に対する助成制度を創設
- 不妊症や不育症に悩む方に対する相談支援事業を充実強化し、不妊治療に対する費用助成について、所得制限の撤廃や助成費用の増額を行うほか、不育症検査に対する助成制度を創設
- がんセンターにおいて、ゲノム解析を基盤とした4つの重点プロジェクトを実施
- 病床機能の分化・連携や病床規模の適正化、在宅医療の充実、医療従事者の確保を推進

## 誰もが活躍できる社会づくり

### 産業人材の育成・確保

- 技能五輪メダリスト等による小中学校等での出前講座に加え、未来のデジタル人材を育成する技能競

技大会を開催

- 高等技術専門校の再編・整備について、岡崎校新校舎の建設工事を進めるほか、離職者の多様なニーズに応じた職業訓練を拡充
- 雇用促進に向けた専門相談窓口による相談対応や就職面接会の開催等により、多様な人材が活躍できる社会づくりを推進
- 県内企業の働き方の現状と課題等を把握する実態調査を実施するとともに、課題解決に繋げるワークショップ等をオンラインで開催
- 中小企業のテレワークの導入に関する相談、情報発信等の支援をワンストップで実施する拠点として「あいちテレワークサポートセンター」を設置するほか、テレワーク・スクールを開催

### 女性の活躍促進

- 新たに中学校・高校・大学等において、キャリアプランについて考える出前講座を実施するほか、企業の人事担当者等で構成する研究会を設置し、モノづくり企業における女性管理職登用に向けた取組を促進
- 企業における女性活躍の好事例、活躍する女性のロールモデルを県内外の若年女性に向けて発信するほか、女性起業家の事業拡大を支援
- 「あいち子育て女性再就職サポートセンター」において、窓口相談や出張相談を実施するほか、就職支援セミナー等を開催
- ワーク・ライフ・バランスの推進について、イクメン・イクボスの普及拡大を図るとともに、仕事と介護の両立支援による介護離職の防止や、市町村と連携したタウンミーティングを開催

### 就職氷河期世代対策

- 「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」による官民一体となった取組を推進
- 紹介予定派遣制度を活用した職場実習を実施

- 「あいちひきこもり地域支援センター」において、市町村が実施するひきこもり対策を支援
- 就労に向けた基礎能力の形成や家計管理能力の改善に向けた相談支援を実施するほか、支援対象者の掘り起こしや、働き掛けを行うアウトリーチによる支援を実施

## あいちのグローバル展開

- 海外産業情報センターやサポートデスクにおいて、進出企業からの各種相談対応や相手国政府への要請等を実施
- 外国人児童生徒に対応する小中学校の教員の配置を拡充し、小中学校に語学相談員を派遣
- 市町村が実施する「日本語初期指導教室」の運営や多言語翻訳機を活用した教育を支援
- 外国人児童生徒数が多い県立学校への小型通訳機の配備を拡充するほか、県立定時制高校に就労アドバイザーを配置
- 外国人生徒等が在学する県立学校に、学習活動や学校生活を支援する教育支援員の配置を拡充
- 「あいち地域日本語教育推進センター」を拠点として、コーディネーターによる指導・助言や、市町村が実施する日本語教育関連事業を支援し、新たに「地域日本語教育の総合的な推進計画」を策定
- 日本人及び外国人の親子が子育てに関する意見交換を行いながら日本語取得を促進する「多文化子育てサロン」を実施するほか、外国人の子どもの進学・就職の実態を調査し、子どもや保護者、支援者向けのガイドブックを作成

## 選ばれる魅力的な地域づくり

### 文化・芸術都市あいち

- 国際芸術祭「あいち2022」の開催準備や広報PR活動を実施するほか、芸術祭のプレ事業として、若手芸術家を対象とした公募による現代美術の企画展示

「アーツチャレンジ」を実施

- 県立芸術大学の「メディア映像専攻」開設に向け、映像スタジオ棟の建設工事や既存施設の改修工事を実施するほか、新彫刻棟の整備に向けた実施設計を実施
- 「あいち朝日遺跡ミュージアム」において全国一の点数を誇る重要文化財を中心とした企画展を開催
- 国指定史跡「断夫山古墳」の発掘調査を実施

### スポーツ王国あいち

- 県内15市・20区間において「オリンピック聖火リレー」を実施し、県内市町村とともに「パラリンピック聖火フェスティバル」を開催
- FIA世界ラリー選手権ラリージャパンの成功に向け、開催機運の醸成を図り、大会会場を盛り上げ、開催を支援
- 第2種公認陸上競技場である知多運動公園陸上競技場の改修整備を支援

### 観光都市あいち

- 愛知ならではの多様な地域資源を「ツウ」な魅力として磨き上げ、質の高い体験コンテンツの造成・販売をモデル的に実施
- 外国人旅行者の誘客について、インフルエンサー等を活用したプロモーションを実施するとともに、世界最大級の口コミサイトへの情報の登録を支援

### あいちの魅力発信

- 2022年に県政150周年を迎えるにあたり、本県の歩みや地域の文化・歴史・風土・産業等について紹介するホームページやポスターを作成するなど、郷土への愛着や誇りを醸成する取組を推進
- 「愛知の住みやすさ」を広くPRし、「働くなら愛知、住むなら愛知」という流れを促進
- UIターン支援センターにおいて、就職イベントや個別相談を実施するほか、大学等と連携・協力して、

学生のUIJターン就職活動を支援

- SNS等を活用したPRや首都圏でのプロモーションを実施し、本県の農林水産物のブランド力を一層強化するとともに、次代を担う新品種をブランド化
- 市町村の社会資本整備等に対する貸付制度の創設や、バス路線を維持している市町村への補助の拡充を行うとともに、東京都内のふるさと回帰支援センターに移住相談窓口を設置するほか、テレワーク・ワーケーションの促進・誘致のための施設の環境整備・実証実験等を実施

## 安全・安心なあいち

- 南海トラフ地震により浸水が予測されるゼロメートル地帯の広域的な防災活動拠点について、木曾三川下流域の愛西市において拠点整備を完了し、新たに弥富市において拠点の基本設計に着手するほか、西三河南部地域の西尾市において地盤改良工事を、東三河南部地域において整備候補地の調査・検討を実施
- 大規模災害時に後方支援を担う新たな防災拠点の整備に向け、候補地の現地測量・地質調査を実施するほか、愛知県・名古屋市の消防学校を始めとした建物の基本構想の策定や、平時の利用目的となる公園の基本設計等を実施
- 「防災ボランティア活動基金」を設置し、県内外で活動するボランティアを支援
- 市町村が実施する消防団の小型動力ポンプ付積載車等の更新について、補助率の引上げを実施
- 住宅や建築物の耐震診断、耐震改修、ブロック塀除却費用に対する補助を実施
- 交通安全県民運動を中心とした取組を積極的に展開するとともに、高齢者の事故防止、車両運転中の「ながらスマホ」や「あおり運転」の防止等、ドライバーの運転マナー向上に向けた取組を実施
- 後付けの安全運転支援装置の購入設置費用に対する補助制度を継続

- 「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定し、自転車に係る交通事故の防止等に取り組むとともに、若年層や高齢者に対するヘルメットの購入補助制度を創設
- 信号灯器のLED化を進めるとともに、道路標示、道路標識等の交通安全施設の整備を実施
- 犯罪被害者及びその家族又は遺族の方に対する支援強化のため、条例制定に向けた検討を行うほか、給付金の支給制度や、再提訴費用を助成する制度を創設
- 地域の治安や災害時の活動拠点である警察署について、津島警察署、豊川警察署の建築工事や岡崎警察署の実施設計を行うとともに、半田警察署の基本設計等に着手するほか、一宮警察署の現地建替えに向けたボーリング調査を実施
- 地域住民の安全・安心を守る交番・駐在所について、8交番・1駐在所の建替えを実施
- 食の安全・安心の確保や食育について、2022年度に開催する「第17回食育推進全国大会」の準備を実施

## 環境首都あいちの推進

- 地球温暖化対策の取組を推進
- 太陽光発電施設やHEMS(家庭用エネルギー管理システム)、住宅の断熱性能等を高める設備等の一体的導入を支援
- 次世代自動車について、本県独自の助成制度と併せて、「自動車税の課税免除制度」を2年間延長し、普及を促進
- プラスチックごみを資源として循環利用する新たなビジネスモデルの構築を目指し、次期「あいち地域循環圏形成プラン」を策定するほか、事業者向けオンラインセミナーや消費者向け普及啓発を実施
- 「浄化槽設置費補助金」の補助メニューに市町村が設置する公共浄化槽に対する補助を追加し、合併処理浄化槽への転換を一層促進
- COP15等に「国際先進広域自治体連合」として参加

し、次期世界目標における自治体の果たすべき役割の重要性を発信

- 幅広い世代で環境学習を実施し、持続可能な未来のあいちの担い手となる人づくりを推進

## 東三河の振興

- 様々な環境変化に迅速に対応するため、次期「東三河振興ビジョン」を2年前倒しし、本年12月までに策定
- 東三河地域への「新しい人の流れ」を創出する取組を進めるとともに、東三河スポーツツーリズムを、市町村、観光団体等とともに推進
- 「奥三河DMO」の活動を支援するほか、移住定住促進のための起業支援等の取組を実施
- 県全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成に向けたサテライト支援拠点構想を推進するため、東三河地域において、新たに統括マネージャーを配置し、スタートアップ支援に取り組むとともに、「農業・食」をテーマとしたイベントを開催
- 「東三河教育プロジェクト」として、時習館高校における「あいちグローバルハイスクール」の指定、豊橋西高校における総合学科の設置、豊橋工科高校のロボット工学科におけるSTREAM教育の推進、渥美農業高校における「あつみ次世代農業創出プロジェクト」を実施
- へき地学校におけるICTを活用した交流学习等への支援を拡充
- 三河港について、神野西地区のふ頭用地の整備及び蒲郡地区における大型自動車船が安全に寄港できる岸壁の延伸整備を進めるほか、更なる国際競争力の強化を図るため、港湾計画の改訂を実施

## 地方分権・行財政改革の推進

- 「あいちビジョン2030」に位置付けた政策の具体的な道筋を明らかにするため、実施計画を策定すると

ともに、中京大都市圏づくりの推進に向けて情報を発信

- 産業振興や雇用対策、子育て支援、三河山間地域の振興など幅広い施策を実施
- 「あいち行革プラン2020」に基づき「スピーディーでしなやかな県庁」への進化を目指して取組を実施
- RPAの活用と業務改革を実施し、効率化と行政サービスの一層の向上を図るほか、職員のテレワークを推進
- PFI方式により県営住宅の建替えを推進
- 県有施設の長寿命化に向けた改修等を実施するほか、「愛知県公共施設等総合管理計画」の見直し・充実を実施
- 知多総合庁舎と知多福祉相談センターについて、2施設を集約した新総合庁舎の整備に向けた基本設計を実施
- 重要文化財である本庁舎の銅板屋根修理に着手